

拠を見ている検察でさえそうなのですから、裁判所がどこまで理解できているのか、不安ではありません。ここは弁護団のプレゼン能力に期待するしかありません。

これまで争点になってきた「あメール」「LINE スタンプ」に続き、スマホの操作痕跡を示す問題が明示されることとなります。これはスマホ問題の根幹をなす争点になっていくはずですが、僕からすれば、無実を示す証拠がスマホから3つも出されてきているわけです。これら3つが一審のときに争点になっていたら、裁判員裁判は確実に無罪になっていただろうと思います。というより今と同じレベルのIT 検証が当時も出来ていたなら、捜査段階で僕の無実は証明されていたはずですが。この裁判は真相が明らかになる一歩手前のところまで来ていると言えます。僕にはアリバイがあり、真犯人たる第三者の事件への介在は確実。不可能ともされる無実の証明を実現するため弁護団は頑張ってくださいしています。その努力が裁判所と世論に届くことを願うばかりです。

堀の中の暮らしについて書きます。5月24日には運動会が実施され、まもなく46になろうというのに、若者に交じって60m走に挑んだところ、2位という好結果を獲得しました。ダイエットも成功し、気力と体力は十分です。ただ、工場対抗リレーの予選と決勝を2本も走った結果、右足太ももが軽い肉離れ。今でも痛みが続いています。もう無理はできませんね。

ここからは暑さとの闘いも始まります。この再審はスマホが争点という分かりにくさを多く持っています。皆さんの言葉で友人知人に話していただけたら幸いです。それが世論を一歩前に進めてくれると信じています。これから力強いご支援を宜しくお願い致します。

(6月23日 / 加藤映次)

天神さんに祈る (第15回) 山田天満宮

名古屋には三大天満宮と呼ばれる三大天神があります。山田天満宮、当会報28号でお伝えした上野天満宮、そして桜天神社。今回お伝えするのは山田天満宮です。

山田天満宮は、菅原道真公の御神霊を奉祀する神社だそうです。寛文12年(西暦1672年)四代将軍徳川家綱が、教育・学問を広く世に広めるため、文教の政治を奨励しました。道真公の御神霊を太宰府(太宰府天満宮)より尾張の国に、尾張藩の教育学問並び道真公の出世に肖るための祖神としてお迎えしたと記されています。

そして山田神社には大国天を祀る金(こがね)神社、悪い縁をたち切り、良い縁に結ばれると謂われる国常立尊をまつる御嶽(みたけ)神社もあります。ご利益のある神社として名高いところで

〒462-0813 愛知県名古屋市北区山田町3-25 電話:052-981-5695

※菅原道真は学問の神様として有名ですが、実は雪冤の神様でもあります。詳しくは当会報24号の編集後記をご覧ください。



改めて鈴鹿殺人事件とは

会報発行の間隔が空いてしまいましたが、7月16日には第10回三者協議が開かれ、7月21日(日)に「加藤映次さんを守る会」の総会が無事に開催されました。その日の朝は今にも振り出しそうな空模様だったのが、津に到着したときには太陽が顔を出し、53名の方が炎天下でのシュプレヒコールを上げてくださったと聞いています。

そして午後は弁護団による記者会見。これまでの三者協議は、(被害者のスマホに)メールが着